

## 第69回日本体力医学会大会のご案内（第2報）

第69回日本体力医学会は現在のところ以下のように準備を進めております。発表の登録および学会誌「体力科学6号」一般発表抄録の原稿提出はすべて大会ホームページ上で行います。本大会の一般発表への応募は学会員に限りませんが、共同研究者は学会員でなくともかまいません。

### 記

1. 会 期：平成26年9月19日(金)～9月21日(日)
2. 会 場：長崎大学文教キャンパス（長崎市）
3. 大 会 長：管原 正志（長崎大学）
4. 大会事務局：長崎大学文教キャンパス内  
第69回日本体力医学会大会事務局  
事務局長：田井村 明博

運営事務局：株式会社コンベンションリンケージ

担当：山下 愛

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-3-6 第三博多偕成ビル

TEL：092-437-4188 FAX：092-437-4182

E-mail：tairyoku69@c-linkage.co.jp

5. 大会プログラム（予定）
  - (1) 大会長講演
  - (2) 特別講演
  - (3) シンポジウム
  - (4) 国際セッション
  - (5) ワークショップ
  - (6) 一般研究発表（口頭発表・ポスター発表）
  - (7) 学会賞受賞講演
  - (8) ランチョンセミナー
  - (9) 県民公開講座
  - (10) 持久走大会

※プログラムの内容は決定次第、本大会ホームページ上で随時更新いたします。

第69回学会大会ホームページ：<http://www.c-linkage.co.jp/tairyoku69/index.html>

# 参加登録方法

## 1. 参加登録の方法

大会に参加するには参加登録が必要です。参加登録の方法は、事前登録および当日登録があります。事前登録は大会ホームページ上で、当日登録は大会会場受付で行います。なお、事前登録され、大会参加費を納入された方には大会開催前に予稿集、大会参加証をお送りいたします。

## 2. 大会参加費

学会会員	事前登録	一般	10,000円	学生	5,000円
	当日登録	一般	12,000円	学生	7,000円
非会員		一般	12,000円	学生	7,000円

※非会員の参加登録は当日登録のみとさせていただきます。

## 3. 事前登録

### (1) 事前登録期間

平成26年4月1日(火)～7月31日(木) 正午まで

### (2) 事前登録の方法

事前登録はホームページ上で受け付けます。大会ホームページの参加登録のバナーから、案内に従い登録を行って下さい。

第69回学会大会ホームページ：

<http://www.c-linkage.co.jp/tairyoku69/index.html>

※オンライン登録以外の登録はありませんので、ご注意下さい。

### (3) 大会参加費の支払い方法

大会参加費は、オンラインでの参加登録システムにおいて、①クレジットカード、②コンビニ支払、③銀行振り込み、のいずれかの方法でお支払い下さい。

## 4. 当日登録

事前登録をされていない会員、非学会員の方が本大会に参加する場合は当日登録をしていただくことになります。大会開催期間中は、会場内に当日登録所を設置しますので、必ず登録をお願いいたします。

## 国際セッションの演題募集のお知らせ

日本体力医学会では、ヨーロッパスポーツ科学学会（European College of Sport Science, ECSS）をはじめとする海外の学会との相互交流を促進し、学会員の学術レベルを高めることを目的として、若手研究者を中心とした交流事業を平成11年度より実施しております。

今大会でも日本と海外の研究者の参加による「国際セッション」を開催いたします。発表形式は約15分～20分（質疑応答を含む）の口演の予定で、使用言語は英語です。発表を希望される方は以下の要領でご応募下さい。

### 【応募資格】

45歳以下の日本体力医学会会員

### 【応募方法】

#### 1. 抄録作成要項

抄録は英文3,000文字以内（タイトルと演者、共同演者名、所属機関名は含めませんが、スペースは含みます）とし、Microsoft Wordで作成して下さい。図表は使用せず、参考文献は抄録の最後に記載して下さい。

#### 2. 送付方法

作成したファイルは電子メールに添付し、kats@tokyo-med.ac.jp宛に送付して下さい。電子メールの本文中には氏名、所属機関名、連絡先住所、電話番号、ファックス番号、電子メールアドレスを記載して下さい。

#### 3. 締め切り

**平成26年5月30日（金）正午まで**

### 【連絡先】

〒160-8402 東京都新宿区新宿6-1-1

東京医科大学健康増進スポーツ医学講座

日本体力医学会国際セッション係

担当：勝村 俊仁

E-mail：kats@tokyo-med.ac.jp

TEL：03-3351-6141（内線237） FAX：03-3226-5277

### 【選考方法】

日本体力医学会渉外委員会で審査し、応募演題の中から原則として3演題を選出いたします。

### 【結果通知】

選考結果は直接本人に通知いたします。

# 演題応募方法

## 【登録資格】

演題登録ができるのは、会員番号を持つ日本体力医学会員に限ります（会員番号は会員名簿に記載）。共同研究者は学会員でなくてもかまいません。非会員の方は、日本体力医学会ホームページからオンラインで、入会手続きを行って下さい。（自動返信メールで会員番号が通知されます）FAX・郵送の場合は入会手続き後、会員番号がお手元に届くまでに数週間かかりますので、お早めの手続きをお願いします。

### ●入会申し込み・問い合わせ

事務局：一般社団法人学会支援機構内 日本体力医学会

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 小石川アーバン4階

Tel：03-5981-6015（学会専用） Fax：03-5981-6012（学会支援機構）

E-mail：jspfsm@asas.or.jp

## 【登録方法】

演題登録開始：平成26年4月1日(火) 正午から

締切：平成26年5月21日(水) 正午まで

一般研究発表は、口頭発表とポスター発表の2種類です。発表予定者の方々は発表形式の選択を行って下さい。ただし、口頭発表には限りがありますので、希望に添えない場合があります。発表形式の決定は実行委員会に一任させていただきますことをご了承下さい。発表形式の決定は演題採択時にお知らせいたします。なお、発表者としての一般研究発表への登録は、会員1名につき1演題に限ります。共同研究者としての演題登録は、何演題でもかまいません。

演題登録は大会ホームページ上で演題応募のタブをクリックし、案内に従って進めて下さい。最初に演題登録した際に自動的に演題登録番号が発行されます。また、登録者ご本人に任意のパスワードを決めていただきます。登録番号とパスワードは、登録の変更と、後日の「体力科学6号」掲載用抄録の登録に必要になりますので忘れることのないようご注意下さい。

大会ホームページURL：<http://www.c-linkage.co.jp/tairyoku69/index.html>

<本大会で一般研究発表された演題の抄録は学会誌「体力科学6号」に掲載します>

「体力科学6号」の掲載用抄録の登録期間

開始 平成26年7月上旬（採択通知到着後から）

締切 平成26年9月30日(火) 正午まで

締切を過ぎると「体力科学6号」への抄録の掲載ができません。

## 【その他】

- (1) 会員の使用コンピューターの問題で演題応募ができない場合でも特別の配慮はいたしません。
- (2) 登録番号、パスワードに関するお問い合わせにはセキュリティーの関係上応じられません。登録番号とパスワードは大切に保管して下さい。
- (3) トラブル発生などの情報は、ホームページ上に随時掲載いたします。

## 平成25年に査読をお願いした先生方は次の方々です

相澤勝治	川野因	谷口優	舟崎裕記
秋間広	菊永茂司	田畑泉	船瀬広三
浅井英典	草刈洋一郎	照屋浩司	星川佳広
足達稔	久保啓太郎	富樫健二	堀田典生
荒尾孝	熊谷秋三	内藤義彦	堀田晴美
安藤創一	神崎素樹	中井直也	前田清司
安家素行	後藤寛司	中嶋耕平	前村公彦
池田道明	小林寛和	中田由夫	牧田茂
石原健吾	小宮秀明	永野康治	松本孝朗
泉重樹	小柳好生	西嶋尚彦	三浦進司
今井一博	小山照幸	西脇雅人	三浦哉章
入江一憲	斉藤満明	橋本健礼三	水口暢功
浦辺幸夫	坂井智也	馬場丈貴	宮崎充江
江川達郎	櫻井良太	原光彦	村岡哲郎
遠藤洋志	桜井良太	原田和弘	村上太郎
大河原一憲	笹川俊義	檜垣靖樹	村永信吾
大槻毅	真田樹亨	引原有輝	山口光國
岡崎和伸	澤田良祐	樋口和文	山口幸生
荻田太子	重松良愛	平川雅也	山下晋
小熊祐子	柴田博之	平島裕一	山田直実
奥本正也	白谷啓之己	平野邦明	油井篤武
長田卓志	菅谷克弘	平山統一	幸岡伸秀
小野高教	杉浦康史	広瀬千穂	吉岡廷浩
加賀谷善生	鈴木正英	福崎千穂	李吉浩
樫村修康	舌矢英昭	福場良範	若吉浩
加藤博昭	征高英幸	藤井野英己	
川中健太郎	鷹股亮子	藤野本隆	
河野史倫	田口素子		

## — 訃 報 —

第66回日本体力医学会大会（山口）大会長の江橋 博先生（東亜大学大学院客員教授）が、去る2014年1月15日にご逝去されました。茲にお知らせし、謹んでご冥福をお祈り致します。

### 平成26年度日本体力医学会プロジェクト研究公募について

日本体力医学会プロジェクト研究（以下、プロジェクト研究）は、平成9（1997）年度に発足しました。日本学術会議体力科学研究連絡委員会から「日本人のための健康体力指標の標準化、及び健康増進・疾病予防のための身体活動に関する推奨・指針作成への提言」が出されたことを受けて、平成16年度からこの提言に関わるプロジェクト研究を公募して参りました。平成26年度の公募研究テーマが下記のごとくに決定しましたので、奮って応募いただくようご案内致します。

#### プロジェクト研究の全体像

1. プロジェクト研究は、日本人の健康維持・増進に関連した体力および身体活動・運動を主題とした研究であり、その成果として、社会に向けて勧告、指針などの提言がまとめられるものでなければならない。
2. 平成26年度は下記のいずれかの研究テーマに関わる研究課題に限定する。
  - 1) 特定保健指導(メタボリックシンドローム対策)に関する基礎的研究
  - 2) こどもの生活習慣と健康づくりに関する研究
  - 3) スポーツ科学(体力科学・体力医学)に関する研究
3. 多施設が共同研究を行うことにより、より優れた成果が出るような研究プロジェクトであること。その際に各研究者の役割を明確にすること。
4. プロジェクト研究の選考は学術委員会の下部組織であるプロジェクト研究委員会が行う。
5. プロジェクト研究の申請は、研究代表者（評議員）と数名の発起人が、研究計画書を共同で作成し、プロジェクト研究委員会に提出する。
6. プロジェクト研究委員会では提出された研究計画書を審査し、採択候補研究を選定する。なお、新規採用可能件数は原則1件である。
7. プロジェクト研究委員会は研究計画に基づき研究費を配分する。研究費は主に調査や資料の収集などに当てるものとする。年間およそ100万円程度

を限度として配分する。プロジェクト研究の研究成果は3年以内でまとめ、(1)プロジェクト研究委員会の審査を経て、理事会の承認を得ることとし、(2)「体力科学」および日本体力医学会大会において公表する。（注：学会の公式見解とするかどうかは、理事会で審議する）

プロジェクト研究に応募される方は、研究代表者（評議員に限る）と数名の発起人が、以下の項目に沿って研究計画書をA4版にワードプロセッサで書き、平成26年4月30日までに下記の提出先にお送りください（電子メールによる提出が望ましい）。研究計画の採否は追って、研究代表者に通知します。

#### 研究計画書

1. 研究代表者名(署名捺印してください)、所属部署・所属大学など、住所、最終学歴（卒業大学または修了大学院）と年月日、学位の有無、連絡先の住所、電話、ファックス、電子メールアドレス
2. 研究発起人名、所属部署・大学、最終学歴（卒業大学または修了大学院）と年月日
3. 研究課題
4. 研究目的（200字以内）
5. 研究期間（3年以内）
6. 研究計画（200字以内）
7. 研究方法（400字以内）
8. 期待される研究成果（200字以内）
9. 研究費の使途（会合費、通信費、印刷代などの費目）に分けて概算を記載してください
10. この研究に関するこれまでの成果（原著、著書などの研究業績）を番号をふって書いてください

提出先 田中喜代次

日本体力医学会プロジェクト研究委員会委員長  
〒305-8574 つくば市天王台1-1-1  
筑波大学体育系  
電話：029-853-2655 Fax：029-853-2986  
E-mail：tanaka@taiiku.tsukuba.ac.jp

## 第25回日本体力医学会スポーツ医学研修会のご案内

本研修会は、基礎コースと応用コースに分かれ、それぞれ2日間、講義と実習を行います。救急救命法、健常者や生活習慣病罹患者に対する運動処方、筋力トレーニングおよびテーピングなど実習を主体とした研修会です。メタボリックシンドローム危険因子保持者などを対象とした運動指導等であり、アスリート対象ではありませんのでご注意ください。

尚、平成23年度より新たな講師陣を加え、1)喫煙や環境汚染および加齢による慢性閉塞性呼吸器疾患(COPD)の運動による改善効果の機序や運動処方、2)降圧剤など薬物治療受診者の運動指導の適否、配慮すべき事項など、3)機能性食品と運動療法併用によるメタボリックシンドローム危険因子改善効果など、4)体組成とくに内臓脂肪の意義およびその測定実習、などの内容を加えました。

全てのコースを受講して修了試験に合格し、所定の手続きをとると「日本体力医学会健康科学アドバイザー」の称号を受けることができます。称号取得を希望される方は、日本体力医学会に入会し、会員になっていただく必要があります。

この研修会には日本体力医学会の会員でない方も参加できます。また、他の研修会を受講し資格や称号を取得された方で、それらの更新に必要な認定単位取得のために本研修会を受講されても結構です。受講証明書を発行いたします。

多数の方のご参加をお待ちしております。尚、実習を行う関係上、各年度の募集人数に制限がありますことをご了解ください。

平成25年12月1日

日本体力医学会学術委員会・スポーツ医学研修会実行委員会

山内秀樹 碓井外幸 鈴木政登 太田真 勝村俊仁 中島幸則 木村雅子

### 1. 会場

会場は東京慈恵会医科大学西新橋校各会議室・大学1号館6F機能系実習室などです。

### 2. 日時および研修カリキュラム

#### (I) 基礎コース

運動生理学やスポーツ医学等の基礎的事項を前提に、さらに進んだ生理学(神経・筋, 呼吸, 循環, 代謝など)や生化学, 栄養学および運動処方の基礎などを中心に学びます。ここで学んだことを基盤として、(II)応用コースへと進みます。

平成26年

7月11日(金)

9:00~10:30	運動と神経・筋
10:40~12:10	運動と呼吸
12:10~13:10	昼休み
13:10~14:40	運動と代謝(水・電解質およびエネルギー代謝)
14:50~16:20	運動と栄養
16:30~18:00	運動と循環
18:00~	懇親会(会費3000円, 参加自由)

7月12日(土)

9:00~10:30	運動処方の基礎
10:40~12:10	生活習慣病の運動処方(肥満・糖尿病・脂質異常症)
12:10~13:10	昼休み
13:10~17:00	救急救命実習(人体模型を用いた実習)

#### (II) 応用コース

このコースの講義では、有疾患者または薬物治療中の場合の運動適用の可否や運動指導の実際について学びます。実習では、自転車エルゴメータによる運動負荷試験を行い、それと関連した血液・尿検査結果データを参考に運動

処方を作成する。さらに、高齢者や喫煙習慣保持者の健康を脅かす慢性閉塞性呼吸器疾患を反映する呼吸機能検査、糖尿病性腎症等の腎機能異常の有無を知る尿検査、およびメタボリックシンドローム罹患の上流因子として重要な内臓脂肪蓄積状態を知る体脂肪測定法などを実習します。その他に、テーピングや筋力トレーニング実習なども行われます。

#### 8月1日(金)

9:00~10:30 高血圧およびその他の循環器疾患の運動処方  
 10:40~12:10 運動器疾患の運動処方  
 12:10~13:10 昼休み  
 13:10~17:00 運動処方実習（自転車エルゴメータを用いた運動負荷試験、心電図記録、呼吸機能検査、尿検査、体組成測定実習）

#### 8月2日(土)

9:00~12:00 運動処方の作成（前日の運動負荷試験で得られたデータを基に各被検者の運動処方を作成し、実施させる）  
 12:00~13:00 昼休み  
 13:00~17:00 テーピングおよび筋力トレーニング実習

#### 8月3日(日)

10:00~12:00 修了試験

注意：講師の都合で講義時間割りが前後することがありますので、ご了承下さい。

### 3. 修了試験と称号について

基礎コースおよび応用コースの両コースを受講した方は、所定の修了試験を受験することができます。修了試験の合格者には合格証を発行いたします。また、修了試験合格後、所定の手続きを経て、日本体力医学会健康科学アドバイザーの称号を取得することができます。

修了試験は平成26年8月3日(日) 10:00~12:00に東京慈恵会医科大学で行います。

※「日本体力医学会健康科学アドバイザー認定試験過去問集（最近8カ年400題）正解/解説付（2012年版）」（定価：2,000円+税）がありますので、ご利用下さい。

下記の“9. 申込書送付先および問い合わせ先”へお申込み下さい。

### 4. テキスト

担当講師が用意した講義資料を簡略なテキスト化し、それに準じて講義が行われます。

### 5. 受講料

受講料は(I)基礎コース、(II)応用コースおよび修了試験の全てを受講する場合は50,000円、単科コース（基礎コース、応用コースの各コースを単独受講）を受講する場合はそれぞれ25,000円（2日間コース）です。2コースの受講を原則としますが、定員に余裕があれば単科コースの受講も可能です。その年度に受講しなかったコースを次年度以降に受講すれば、全コース受講後修了試験を受験することができます。尚、学生受講者は30,000円（基礎・応用コース）と致します。ただし、学生証の呈示が必要です。

### 6. 受講資格と定員

スポーツ医学研修会受講資格は特に定めませんが、2コース受講後に行われる修了試験に合格し、「日本体力医学会健康科学アドバイザー」の称号取得申請を希望する方は日本体力医学会会員でなければなりません。但し、自己研鑽のために本研修会を受講される方や他団体の資格や称号の登録更新のための認定単位取得が目的の場合は日本体力医学会会員になる必要はありません。定員は各コース40名です。



## 7. その他

健康運動指導士、同実践指導者の登録更新に必要な履修単位90分1単位（講義題目8科目認定）およびTHPではそれぞれ基礎コース5単位、応用コース5単位が認定されます。

## 8. 申し込み方法

本研修会受講希望者は、葉書またはFAXで、日本体力医学会スポーツ医学研修会を受講したい旨を下記までご連絡下さい。仮申込受付後、申込書類をお送りいたしますので要領に従いお申込下さい。なお、申込に際し、受講料をご案内の口座に2週間以内にお振込みください。お振込みをもって正式な申し込みとさせていただきます。定員に達し次第、締め切らせていただきますのでご了承下さい。受講票、受講料などの連絡は、受講通知とともに後日ご案内させていただきます。

なお、申し込みが20名に満たない場合には中止させていただきますのでご了承ください。その時には受講料を払い戻しますが、本人都合による返金には応じられませんので、あらかじめご了承下さい。

## 9. 申込書送付先および問い合わせ先

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-18 小石川アーバン4F  
 一般社団法人 学会支援機構内  
 日本体力医学会スポーツ医学研修会 係  
 電話：03-5981-6015 FAX：03-5981-6012  
 E-mail：jspfsm@asas.or.jp

---

## 第25回日本体力医学会スポーツ医学研修会 仮申込書

下記の通り、研修会の受講を申込ます。（該当する□にレ印をつけてください。）

第25回 基礎コース

第25回 応用コース

試 験

氏 名 \_\_\_\_\_

連絡先 〒 \_\_\_\_\_

TEL： \_\_\_\_\_ E-Mail： \_\_\_\_\_

## The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFSM) オンライン投稿を開始しました

2013年12月15日より、英文誌（JPFSM）オンライン投稿を開始いたしました。オンライン投稿は、独立行政法人科学技術振興機構（JST）のシステムJ-STAGE3を介して行われます。

オンライン投稿の実施に伴い、JPFSM「Instructions for Authors」を改定いたしました。これまでは「JPFSM」編集事務局へ添付ファイルでの投稿となっておりますが、今後はオンライン投稿審査システムからの投稿に変わります。

<ログインURL>

<http://www.editorialmanager.com/jpfsfm/>

※上記URLのログイン画面から「Instructions for Authors」および「Manual」をダウンロードできます。

システムにつきましては、和文誌（体力科学）の英語版となります。また、現在進行中の投稿論文については、従来の方法で進行いたします。

会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

日本体力医学会編集委員会  
委員長 鈴木政登  
JPFSM: Editor-in-Chief  
今泉和彦

### 日本体力医学会 国際交流事業 2014年米国スポーツ医学会（American College of Sports Medicine: ACSM） 参加助成制度 募集要項

日本体力医学会会員各位

- 2014年5月27日～5月31日に米国オーランドにおいて第61回ACSMが開催されます。ACSMでは例年多くの日本体力医学会会員が研究成果を報告しています。日本体力医学会では国際交流事業の一環として第61回ACSMにおいて特に優れた研究成果の発表を行う大学院生2名（口頭発表1名、ポスター発表1名）および若手研究者1名（口頭発表）に対して参加を支援する助成金を贈呈することになりました。本会会員若手研究者および大学院生の積極的な応募を期待します。
- 助成金の応募資格は以下の要件を満たすこととします。
  - 2014年4月の時点での日本国内の大学院の在籍者（修士（前期）課程・博士（後期）課程・研究生を含む）、あるいは日本国内の研究機関・教育機関に所属する35才未満の若手研究者。
  - 大学院生：第61回ACSMに口頭発表あるいはポスター発表の筆頭演者として演題が採択された日本体力医学会会員。
  - 若手研究者：第61回ACSMに口頭発表の筆頭演者として演題が採択された日本体力医学会会員。
  - なおできるだけ多くの会員に機会を提供するために、過去3年間で本助成制度に採択されている場合、応募は受け付けますが、演題審査で同じ評点の場合には過去に採択されていない方を優先します。
- 助成金制度に応募する会員は、日本体力医学会会員番号、生年月日、氏名、提出した演題登録内容（タイ

トル・共同演者名・所属、抄録本文（いずれも英文）、及び演題応募者に通知される演題採択結果、さらに大学院在籍者は学生証の写しと指導教員の推薦状（A4版1枚程度・書式自由）を2014年2月14日（金）午後5時までに電子メール（推薦状や学生証の写しも含めてできるだけPDFファイルでお送りください）で渉外委員会委員宮下政司（[masashi@u-gakugei.ac.jp](mailto:masashi@u-gakugei.ac.jp)）宛にお送りください。

- 採択の可否は、渉外委員会が組織する推薦委員会で審議を行い2014年3月下旬頃までに決定し、本人に通知するとともに、本ホームページ上で発表者氏名と演題名を公表します。
- 採択者には日本体力医学会より参加支援助成金として若手研究者1名に120,000円を、大学院生2名にそれぞれ100,000円（口頭発表）、80,000円（ポスター発表）を支給します。
- 不明な点、質問は渉外委員宮下政司あるいは委員長永富良一（[nagatomi@med.tohoku.ac.jp](mailto:nagatomi@med.tohoku.ac.jp)）までメールでお知らせください。
- 応募者が発表を行わない場合には助成を取り消すことがあります。なお採択者には2014年6月中旬に報告書を提出していただきます。報告書は体力科学に掲載されることとなります。

2013年11月29日  
日本体力医学会渉外委員会

## 編 集 後 記

2014年最初の体力科学(第63号1巻)をお届けします。本号には、第69回日本体力医学会大会のご案内と、原著論文計8編が掲載されています。原著論文は、実践的スポーツ医学に加えて、高齢化社会、肥満、日常的運動習慣の低下といった社会的課題などに焦点を当てた研究で、大変に興味深い内容となっています。

年が明け、2014年2月7日(金)-23日(日)に行われる17日間の第22回オリンピック冬季競技大会ソチ大会が間近となり、アスリートの活躍への期待が高まっています。しかし、日常的にトレーニングをしているアスリートは運動が「過ぎた」状態になることが多く、一般の人よりもかえって風邪をひき易い状態であることは良く知られています。即ち、アスリートがその力を十分に発揮するためには試合の時にベストコンディションであることが重要になってきます。中等度の運動は感染症のリスクを減少させ、逆に、運動不足だけでなく激しい運動はそのリスクを上昇させるという“J”カーブ理論の更なる科学的解明が待たれます。

一方、この1世紀の文明の発達に伴い、人々の身体的活動量は急激に低下しました。人類の歴史の中で極めて短期間に起った活動量の減少が、多くの慢性疾患の危険性を増加させてきたと指摘されています。すなわち、日常的活動量の少ないライフスタイルは、肥満、循環器疾患、2型糖尿病を促進するだけでなく、免疫機能低下や

ある種のがんの発症にも影響を与えています。国は2000年から「健康日本21」をスタートし、メタボリックシンドロームの「一次予防」の重視と健康寿命の延伸、生活の質の向上を目指してきました。身体的活動量も重要ファクターとし取り組んできたのですが、残念ながら十分な成果を得る事が出来ませんでした。2013年からスタートした「健康日本21(第2次)」では、1日に歩く歩数の増加と運動習慣者の増加の割合に再度指標を設定し、身体活動・運動を改善するために、様々な専門職が連携を図り、休養や食事・栄養などを含めた個々人の生活習慣全体を包括的に捉えたアプローチをしていくこととなりました。身体活動と健康との関係についてより詳細な解析が必要となってくる事でしょう。

昨年秋、2020年夏季オリンピックの開催地が東京に決定されました。この瞬間、固唾を飲んでテレビを見ていた方も多いのではないのでしょうか。今後、スポーツが注目される機会が増えて行く中で、アスリートの健康管理、一般の人々の健康増進など、日本の体力科学を担う本誌の役割が更に重要になって来る事と考えます。年の初めに当たりまして、日本体力医学会会員の皆様の益々のご活躍をお祈りすると共に、今後ともご協力をお願いする次第です。

木崎 節子

### The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol.63, No.1

#### 体 力 科 学 第 63 卷 第 1 号

平成 26 年 1 月 25 日 印 刷

平成 26 年 2 月 1 日 発 行

編 集 兼 発 行 者

鈴 木 政 登

発 行 所 〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 小石川アーバン4階

一般社団法人 学会支援機構

日本体力医学会

編 集 事 務 局 〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1

鶴岡印刷株式会社内

「体力科学」編集事務局

TEL・FAX(共通) 0235-22-3120

E-mail: hj-tairyoku@turuin.co.jp

印 刷 所 〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1

鶴岡印刷株式会社